## が洗りの部の水が作文の部の水が洗り



## 全国共済農業協同組合連合会岩手県本部長賞·特選 (特別賞·岩手県知事賞)

## ばあーさん

向中野小1年(JAいわて中央)

菊池 大杜

ぼくは、ばあーさんが大すきだ。ばあーれた。びょういんの人は、 さんは、とてもおもしろくて、かっこいい。

ばあーさんは、ぼうずのぼくよりけがない。 「どうしてけがないの。」

と、きくと、

「おぼうさんに、なりたいのさ。」

と、おうちで一ばんこうきゅうなアイスを食べ ながらいっていた。

ぼくは、しっている。びょういんのくまみ たいなおいしゃさんがおしえてくれた。ば あーさんは、がんだった。

そんなばあーさんは、はやおきだ。まだ みんながねているじかんにおきる。にわに でて、ざっそうをぬいて、いもむしをやっつという。それは、ちょっとこわい。 ける。

「太ようにかちたいのさ。|

かっこいい。太ようとバトルしているばあー さんはかっこいい。

ばあーさんはだんだんあるけなくなって 車イスになった。

「どうして、車イスにのるの。|

と、きくと、

「大ちゃんをのせて、ドライブするためさ。」 ぼくをひざにのせて、あっちこっちはしってく 評⊘大すきだった「ばあーさん」だったので すね。大杜さんの素直な問いかけへの「ばあー さん」のかっこいい返しの言葉が印象的です。 「ばあーさん」との微笑ましいエピソードから、 「ばあーさん」を思う大杜さんの優しさがとて もよく伝わってきます。

「スピードいはんですよー。|

と、おこっていたけど、ばあーさんのうん てんはじょうずだ。

ばあーさんは、しんだ。大すきなコーラ とうすかわまんじゅう食べて、ねたらそのま まうごかなかった。ママが、

「ばあーさんは、いつでもうちにいるよ。」 と、いっていた。ぼくは、うれしかった。 「ママ、トイレにいこう。」

と、よるにいうと、

「ばあーさんが、そばにいるから一人でいっ ておいで。

## ※特選に選ばれた感想※

作品コンクールで特選になれて、とてもとてもうれしかっ たです。担任の平山先生に、

「おめでとう!」

といってもらえて、イエーイとおもいました。

でも、すこしさびしいきもちにもなります。ぼくは、ば あ一さんをおもいだすとなみだがでそうになるからです。大 すきなばあーさんにあいたいです。

作文をかくのは、本当はきらいです。なにをかいたらいい のかわからないからです。でも、大すきなことをかいたか ら、すらすらかけました。

ぼくの大すきなものは、アニメのぬいぐるみとゲームで す。でも、どっちもなくしてもお店に行けばたくさんありま す。本当に大すきなものは、ママやおとうさんや、三人の妹 たちです。だって、この五人のかわりはいないからです。

これからも、大すきなかぞくを大せつにしたいです。あり がとうございました。